

★第3回『S.P.A.R.K. for our well-being!』講演会★

★3/13（金）@桐生市立商業高等学校 体育館★

★演題★

『Agency から Well-being へ ～予測困難な時代に

私が私を幸せに生きるために高校時代をどう過ごすのか～』

★講演者★

共愛学園 前橋国際大学 学長 大森 昭生（おおもりあきお）さま



実は大森学長様に講演をお願いしていたのは、半年以上前のことです！ぜひ、桐商生に会わせたい、桐商生に大森学長のお話を聞かせたい、と強く願っていました！

『1, 2年生』のみになる『3月実施』にもねらいがありました。それは『進路を考える絶好の機会』だからです！『大学進学』を選択している人には、『前橋国際大学』を候補のひとつにさせていただいてもよいかと思いました。SPARKの元となる『群馬県教育ビジョン』を策定した方が運営している大学での学びに興味をもつ生徒がいるのでは？と考えたからです！

また、『専門学校』や『公務員』、さらには『就職』希望の生徒にも、大森先生のお話は有効であると思っていました！

外部の教育関係者もたくさん参加していただきましたが、卒業



したばかりの桐商生も聞きに来ていただきました！定時制の生徒については参加してくれただけでなく、質問もしてくれましたね！『自分事』として活かしていただければ嬉しいです！

社会に変革を与えたり、新しい価値を創造する『イノベーター』のお話も興味深かったですね！PTA役員会のみなさんのためになる工夫でもイノベーターと呼べるのですから、桐商全体やクラス、チームのためになる提案や行動だってよいのではないのでしょうか？

1, 2年生の感想文の一部を紹介します。しっかり伝わっている様子がわかり、嬉しいです！（校長 星野 亨）

生徒の感想文その1(それぞれ一部抜粋!)・・・大森昭生先生のお話は、桐商生の『心』に深く深く刻まれております！

特に印象深いのは「答えがないから面白い」という言葉です。答えがないからこそ、自分で考え、新しいものを生み出すことができると知り、とても前向きな考えだと思いました。私もポジティブに考え今後も過ごしていきたいです。また、予測が難しい時代だからこそ「チームを作ること」や「学び続けること」が大切だという話も印象に残りました。一人で考えるだけでなく、いろいろな人と協力して新しい考えやアイデアが生まれるものだと思います。

2年1組 北村 瞳歩

私が今回の講演で思ったことは、人が輝くのはどこにいるかではなく、そこで自分が何をやるかによるということです。今までは良い大学に行くことが大切だと思っていました。しかし、人生は思い通りには行くとは限らず、そこで何をやるかが大切であり、リカバリー力が大切だと感じました。

2年1組 林 里絵菜

私は今回の講演を通して、これから大切にしていかなければならない考えを多く学びました。(中略)4つめはリーダーシップとフォロワーシップです。動画を見せていただいた際に、1人で踊っていて恥ずかしい状況から踊らない方が恥ずかしいという状況に変わっていき、1人がmovementのリーダーだが、次についていく人がいて初めてその人をリーダーにでき、フォロワーの役目も大切だと学びました。そのため、リーダーシップとフォロワーシップがチームを創るという新たな考え方を得られました。

2年2組 石原 陽香

私は今まで挑戦することを恐れてしまい、一歩踏み出すことがあまりできていませんでした。しかし、大森先生のお話を聞き、0か100でなくても良い、30でも良いから少しでも前に進むことが大事というのが強く心に残り、完璧でなくてもいいのだとすごく救われました。

2年2組 石原 舞

今回のSPARK講演会を終えて、これから進路を決め、歩いていくための志を学ぶことができました。特に大切だと思ったことは、学びを続けることです。高校、大学を卒業すれば、自ら勉強する機会は大きく減ると思います。しかし、それでは日々進化する社会の知識・技術に追いつけなくなってしまいます。なので、積極的に学習する姿勢を持ち、主体性のある行動、協働をしていくことが大切なのだとわかりました。

2年3組 菅野 悠人

今回のSPARK講演会を聞いていろいろなことを知ることができました。たしかに環境に左右されず自分で行動し挑戦することによって可能性は無限大に広がっていきなと思いました。「変化」するためには自分一人の力だけじゃだめだと学びました。自分は毎年一年間の目標を設定していて、去年は「変化」を目標に生活していて、結果はたしかにいろいろな変化があり、自分一人の力で変わった気でいましたが今回の話を聞いて、たしかに周りの人の協力もあったから変わることができたのだなと思いました。

2年3組 永瀬 琉斗

学んだことを可視化することで、自分の成長をより実感できるという話も心に残りました。部活動はもちろん、日々の生活でも学びを振り返りながら、一歩前に踏み出すマインドを忘れずに過ごしていきたいです。自分自身も周りの人に良い影響を与えられるイノベーターになれるよう努力していきたいと思います。

2年4組 小野 心春

予測困難な時代に対して、これからの私達は柔軟に対応していく必要があると実感しました。一つの課題を解決する場合でも、法律や福祉、データ、技術、まちづくりなど、さまざまな観点から解決策を見いだしていく力を身につけたいと思いました。また、イノベーターとしてのリーダーシップだけでなく、それを支えるフォロワーシップを持つことも重要だと感じました。周囲の支えがあってこそリーダーは力を発揮できるものであり、フォロワーの立場とリーダーの立場、どちらにおいてもそのことを心に留めながら活動していきたいです。

2年4組 菊地 花帆

生徒の感想文その2(それぞれ一部抜粋!)・・・大森昭生先生のお話は、桐商生の『心』に深く深く刻まれております!

これからの社会は将来を予測することが難しい時代だと言われていました。そのため、失敗を恐れるのではなく、失敗した後にはどう行動するかが大切だという話が心に残りました。私もこれまで失敗すると落ち込んでしまうことがありましたが、失敗から学び、次に活かすことが大切なのだと思います。

2年5組 金子 久遠

これまで私は、良い学校や有名な会社など、どこに所属するのが1番大切だと思っていました。しかし、大森先生の講演を聞いて、本当に大切なのは場所ではなく、その場所で自分が何を考え、どのように行動するかだと気づかされました。どんな環境にいても、自分の行動次第で人の役に立ったり、新しい価値を生み出したりすることができるという考え方はとても前向きで勇気を与えてくれるものでした。

2年5組 柴田 華空

予測困難な時代と聞いて、少し不安に思いましたが、ネガティブに考える必要はなく、自分で答えを生み出すことができる時代であるとわかり、高揚感を覚えました。これからは一歩踏み出すマインドを身につけ、予測困難な時代に屈することなく、生きていきたいです。

2年6組 荻野 永妃

今回の講演会を終えて、私は柔軟に生きていく大切さを学びました。日常生活においては与えられた環境が自分の望んだ環境でなくとも自分で自分を信じ一生懸命に過ごすことで充実感を感じ、リカバリー力がつくことがわかりました。また、自分自身がどんな環境であっても一生懸命に過ごすことで他の人が何かを頑張っているときにしっかりと応援できる人になれるのではないかと考えました。

2年6組 米川 結衣

今回の SPARK 講演会を聞いて、自分で考え、判断し、行動する Agency を実現するために、問題を的確に捉え、常に自分事として課題を考え続け、解決策を考えてみることから初めてみようと思いました。また、学びの成果を可視化することが大切だと学んだので、学んだ結果自分がどう成長し、どんな力を身につけたのかを自分の言葉で説明・表現できるように意識しながら積極的に取り組んでいきたいと思いました。

1年1組 赤石 美弥

今回の講演を通して、私は自分の人生の主人公であると同時に、社会の一員であるということあらためて考えることができました。これからの高校生活では、ただ毎日を過ごすのではなく、自分の将来を考えながら様々なことに挑戦していきたいと思いました。

1年2組 小林百々愛

特に印象に残っているのは「この大学にいられて良かったと思える努力をした」という話です。私は「他の高校だったらどんな風に楽しめていたかな」と考えたりすることが何度かありました。でも、そんなときに「楽しめるように努力しよう」と考えたことがなかったので、先生の話聞いてとても新鮮な気持ちになりました。今後、自分が高校生活を楽しめていないと思ったときは、自分なりに努力してみようと思いました。

1年3組 齋藤 藍

これまで勉強や部活でも、一度失敗したら終わり、自分の思い通りの道に進めなかったらどうしようと不安になることが多かったです。でも大森先生のお話を聞いて、たとえ最初の計画通りにいかななくても、別の道を探したり、また、元の道に戻る努力をしたりするリカバリーができるようになりたいと思いました。

1年4組 鈴木 逢心

「Agency は誰もが元から持っているもの。それを発揮するための力を高校生活で学ぶ。」という言葉聞いて、今後の高校生活ではその言葉を意識して日々の授業や学校生活を過ごしていきたいです。そして「リカバリー」しながら幸せに生きるために頑張りたいです。

1年5組 大谷 美月

生徒の感想文その3(それぞれ一部抜粋!)・・・大森昭生先生のお話は、桐商生の『心』に深く深く刻まれております!

今回の大森先生の講演では、全体を通して私とは考えが異なっていたので斬新で、私の不足している欠点を正当化するために必要な考えばかりで、私にとっても学びの良い機会になりました。2つ私が課題視したのは、「一步踏み出すマインドをもつ」「積極的な妥協」です。(中略)2つ目の大森先生のおっしゃっていた座右の銘について、私は完璧を追求して、その結果「諦め」に至ってしまいます。だから、この座右の銘のように、目標とした成果が出なくても、出た成果を受け止めて、自負しようと思いました。

1年6組 齊藤 新奈

